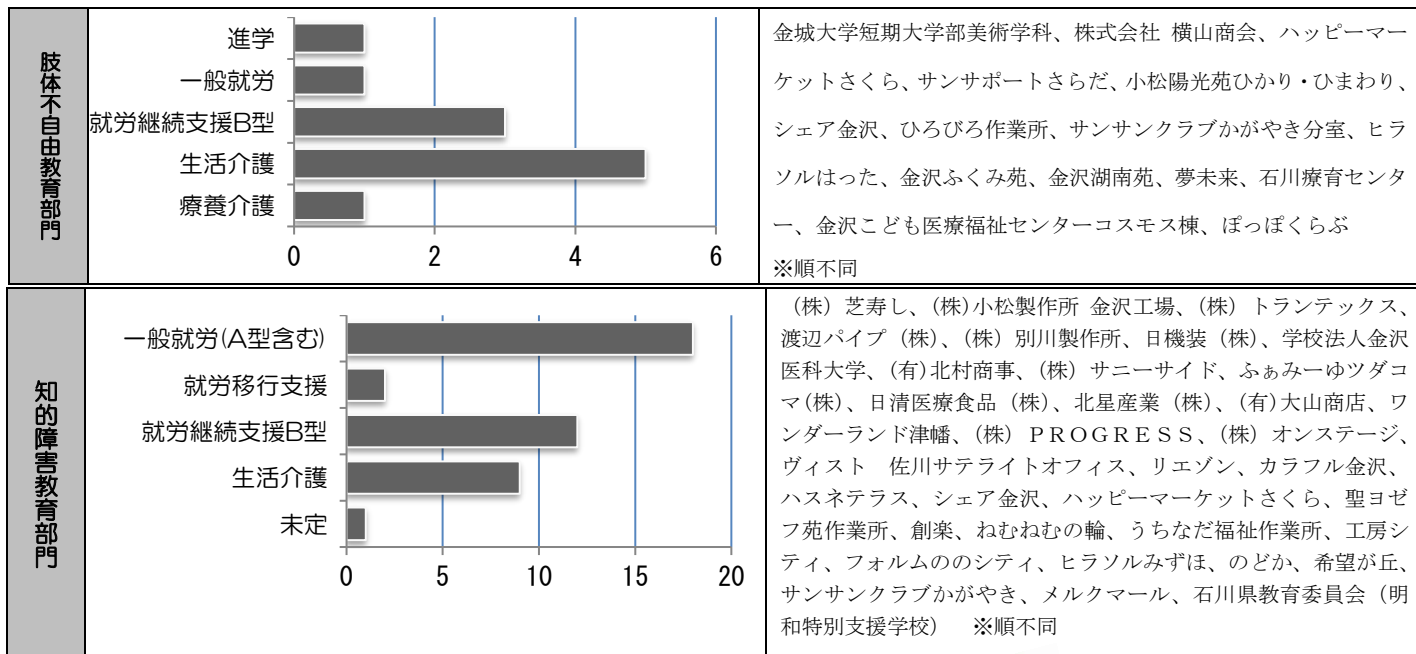




今年度の進路状況

卒業生 肢体不自由教育部門 11名 知的障害教育部門 44名



高等部3年間の歩み (進路決定までの取り組み)

生徒が進路決定までに家庭で取り組んできたことや保護者の思いを紹介します。

知的障害教育部門 高等部 Aさん 進路先…株式会社サニーサイド

実習履歴	実習先	作業内容
1年	後期：株式会社メフォス (JHCO 金沢病院)	調理補助、洗い物等
3年	前期：株式会社サニーサイド	食肉加工 (パック詰め)、パット洗浄等



僕は職場実習をとおして、就職に大事なことは「挨拶、働く態度、報連相」の3つだと思いました。特に分からないときや困ったときには、すぐに質問や相談をすることが大切だと感じました。一方で僕は人と話すことが苦手でした。そこで、コミュニケーションの力を身につけるために相手の話をしっかり聞くことに取り組みました。特に相手の話を聞く際は、注意されたときも素直に聞くことを心がけました。その結果、実習先の方や周囲の人とのコミュニケーションがうまく取れるようになり、人間関係もよくなりました。4月からもさらに成長できるように頑張りたいと思います。

保護者の思い

息子は料理が好きで、食に関する仕事をしたいと話していました。1年生の時は、病院で調理補助の実習を、2年生の時は視野を広げるために別職種の実習予定でしたが、コロナの影響でなくなりました。3年生になり、やはり本人が食に携わる仕事をしたいという希望が強く、前期・後期と同じ実習先へ行かせていただきました。

実習先では、仕事内容に変化をつけていただき、課題を明確に示して本人と向き合ってくださいととてもありがたく思いました。普段は反抗期もあり、家族間でぶつかり合いもあったのですが、実習期間中はとても生き生きとして楽しそうでした。また、前期実習の課題を受け、家庭では「やればできる！」と自立に向けて日常の課題をいくつか出し、先生の協力のもと取り組みました。

春からは、新しい環境で困難にぶつかりながらも一社会人として成長し、頑張ってもらいたいと思います。

知的障害教育部門 高等部 Bさん 進路先…社会福祉法人眉丈会 就労支援事業所 創楽

実習履歴	実習先
2年	後期：グローバルふくひさ
3年	前期：社会福祉法人眉丈会 就労支援事業所 創楽



保護者の思い

卒業後の進路について、住んでいる地域の中で過ごす利点を考え、自宅に近い事業所を選ぼうと思っていました。中学部2年のわく・ワーク体験でお世話になった事業所で本人の課題について丁寧に対応していただいたこともあり、実習を決めました。その上で、本人が実習にとっても前向きだったこと、先生方をはじめ周りの方々と相談を重ねていくことで迷いがなくなり、スムーズに進路を決めることができました。

いよいよ4月から社会人となります。環境の変化に戸惑うこともたくさんあると思いますが、学校生活で得た多くの経験を糧に、持ち前の明るさで突き進んでほしいと思います。



肢体不自由教育部門 高等部 Cさん
進路先… 金城大学短期大学部 美術学科



保護者の思い

私はアニメが好きで声優になりたいと思っていました。でも、アニメは声だけではなく、イラストや映像等多くの技術で出来ている事を知り、「イラストで誰かを楽しませたい、励ましたい」と思い、イラストを学べる学校へ進学しようと思いました。それからは、インターネットで描き方を調べて練習をしたり、学校では進学講座を組んでもらい基礎を教えてもらったりしました。受験対策の面接練習をして、無事合格することができました。大学では今もっている知識を活かし、新しい知識を得て将来の夢のために沢山学んで行きたいと思っています。

息子が進学を決めてから、先生方には進学講座をして頂き、大変感謝しています。休みの日には、何度もオープンキャンパスに通い、大学の先生や生徒さんにも顔を覚えてもらえるようになりました。家では夜遅くまで絵の練習をしたり、学校では先生方との面接練習をして頂いたり、おかげで無事に短大合格できました。短大では、好きな事を思う存分学んできてほしいと思います。



肢体不自由教育部門 高等部 Dさん 進路先… シェア金沢

実習履歴	実習先
2年	後期：ねむねむの輪
3年	前期：B's Work 後期：シェア金沢



保護者の思い

こんな事を書くと、どうなの？と思われるかもしれませんが、私は息子の進路について、それほど深く悩むことはしていません。それは責任放棄という事ではなく、息子には必ずその時合ったタイミングで必要な場所や仕事が訪れると信じていたからです。そしてそれはちゃんと現実になったと思っています。もちろん選択をせまられる時もありますが、息子の可能性を信頼しながらも流れに身を任せ、子も親も無理をせず、何より安心で安全であり、皆の笑顔が増える選択をしていけたらと思って進んでまいりました。ちがうと思ったらまたその時考えればいい。息子にはただ、ストレス少なく、少しでも自立することの喜びを感じられるようにと願っております。

社会人となる日は必ず訪れます。家族で将来のことを話し合ってみてはいかがでしょうか

